



発行年月 >>> 2020.3

Vol.42

Olive・Heart通信



香川大学男女共同参画推進室ニュースレター

TOPICS

- 活動報告…「研究力伸長セミナー」(統計セミナー基礎編・実践編)の実施について
- 「女性リーダー育成セミナー」の実施について
- 「キャリア形成支援セミナー」の実施について
- 「クラウドファンディング・セミナー」の実施について
- 「介護セミナー」の実施について
- 「キャンパスメンターミーティング」(創造工学部)の実施について
- 「香大っこサポーター・ブラッシュアップ講座」の実施について



「研究力伸長セミナー」(統計セミナー基礎編)を開催しました。

日 時：2019年12月5日(木)18:00～

講 師：大阪市立大学大学院 医学研究科 医療統計学講座 教授 新谷 歩氏

場 所：医学部キャンパス 臨床講義棟1階 参加者数：76名

12月5日(木)に、香川大学医学部キャンパスにおいて、「研究力伸長セミナー(統計セミナー基礎編)」を開催しました。

本セミナーは、徳島大学を代表機関とする2019年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」において実施すべき女性研究者の研究力向上を図るための取り組みに基づいて実施され、女性研究者(若手研究者・大学院生等を含む)が、自らの研究において必要な統計解析についての知識を高めスキルを向上させることができるよう支援することを目的として開催したものです。

事前に申込のあった参加者に加え、当日参加の方も多く計76名の参加がありました。講師の新谷先生から、研究者が陥りやすい統計解析上の留意点について、数式を一切用いず、多重検定によるP値の補正、無料ソフトを用いた計算、データの種類に応じた統計テストの選び方、回帰分析モデルの選び方など基本からわかりやすく解説していただきました。参加者からは「とても分かりやすかった」「大変勉強になりました」といった声が多く、また、「EZRについても勉強したい」「きちんと統計を勉強したくなりました」「ロジスティック回帰について具体的に知りたい」など意欲的な意見

も多く大変有意義なセミナーとなりました。

以下、セミナーについての参加者からの感想(一部抜粋)

- EZRの傾向スコアが非常にためになりました。統計の基礎的な事をわかりやすくおしえて頂きました。

- 「P値の落とし穴」は今後意識したいと思いました。

- 導入部にじっくりと平均値の差の検定などで、基本的な考え方を復習することができました。

- 統計テストの選び方がとてもわかりやすく参考になりました。

- 基本的な統計についてわかりやすく講義して頂いたので今後の研究に活かしたい。

- 有意差の事がよくわかりたのしかった。



▲セミナー時の様子

「女性リーダー育成セミナー」「キャリア形成支援セミナー」を開催しました。

日 時：2019年12月25日(水)

講 師：首都東京大学理事、お茶の水女子大学 監事 吉武 博通 氏

場 所：香川大学幸町南キャンパス 総合教育棟(DRI棟)1階 第11講義室

第1部：[女性リーダー育成セミナー] 14:00～15:00 参加者数：66名

第2部：[キャリア形成支援セミナー] 15:30～17:30 参加者数：72名

12月25日(水)に、香川大学幸町南キャンパス総合教育棟(DRI棟)において、「女性リーダー育成セミナー」を開催しました。本セミナーは、徳島大学を代表機関とする2019年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」において実施すべき女性研究者の研究力向上を図るための取り組みに基づいて実施され、女性研究者等の上位職・管理職への登用を促進するとともに、女性研究者等の割合および登用率の向上を図るための環境づくりとして開催したものです。

事前に申込のあった学長をはじめとする参加者に加え、当日参加の方も多く、計66名の参加がありました。

第1部では、講師の吉武先生から、経営力の強化のためには人的資源を生かすことが重要であり、Respect&Trustを念頭に、職員もカリキュラム改革などの意思決定に加わる必要

である。職員改革、意識改革が大学改革につながるので、働き方改革をおこない、労働生産性を高めることが重要となる。また、理工系における女子の活性化が求められているなど、教職員にとって大変有意義なお話をいただきました。

第2部の「キャリア形成支援セミナー」では、第1部に引き続いての参加者に加え、当日参加、学外の方の参加もあり、計72名の参加がありました。講師の吉武先生から、ダイバーシティによりイノベーションを起こすことが必要となっているが、イノベーションとは知の再構築である。大学においては働き方改革と公正な待遇がポイントとなり、大学のキャリア形成とワークライフバランスを実現することが理想である。個人が生活を通して成長することにより、組織へ貢献する結果となる。また、女性活躍と生産性は関係があるなどの大変興味深いお話をいただきました。



お知らせ

キャンパス・メンター・ミーティングについて

男女共同参画推進室では、「キャンパス・メンター・ミーティング」を設置しております。

「キャンパス・メンター・ミーティング」とは、学内の女性(男性の参加も可)研究者・職員による、自由に意見交換や相談ができる機会です。個別相談もできます。教育・研究・仕事についてや生活について、また、その両立について困っていることや、気になることを自由に話し相談することができます。さらに、学外との連携で次のような活動も可能です。

- 女性有識者(香川の経済界・県庁等で活躍している女性)との懇談により、意見交換をしたり、助言を受けることができます。
- 四国5大学連携の女性研究者活躍推進コンソーシアム形成事業の一つである「連携メンター制度」の活用により、学外の研究者とのメンター相談や各種情報を受けることができます。

詳しくは、男女共同参画推進室までお問い合わせください。

☆2020年2月28日創造工学部において、キャンパス・メンター・ミーティングを開催しました。7名の参加となりました。
今後全学部開催予定です。



▲ミーティング時の様子

活動報告

「研究力伸長セミナー」(統計セミナー実践編)を開催しました。

日 時：2020年1月21日(火)17:30～

講 師：大阪市立大学大学院 医学研究科 医療統計学講座 教授 新谷 歩氏

場 所：医学部キャンパス 臨床講義棟1階 参加者数:52名

1月21日(火)に、香川大学医学部キャンパスにおいて、「研究力伸長セミナー(統計セミナー実践編)」を開催しました。

本セミナーは、徳島大学を代表機関とする2019年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」において実施すべき女性研究者の研究力向上を図るための取り組みに基づいて実施され、女性研究者(若手研究者・大学院生等を含む)が、自らの研究において必要な統計解析についての知識を高めスキルを向上させることができるよう支援することを目的として開催したものです。

12月に行われた基礎編のセミナーに引き続いての参加者も多く、計52名の参加がありました。講師の新谷先生から、研究者

が陥りやすい統計解析上のポイントとその克服法について、数式を一切用いず基本からわかりやすく解説していただきました。

参加者が事前にEZRをインストールしたノートパソコンを持参し、実際に解析を行う実践セミナー形式で行いました。

参加者からは「1から教えていただき、非常に分かりやすかった」「実技で学べるのがよかった」といった声が多く、また、「講義内容が多いのが楽しい」「今まで苦労してた事が一瞬で出来てもっと色々使ってみたくなりました」「生存解析、多変量解析、傾向スコアマッチングが聞きたい」などの意見も多く、大変有意義なセミナーとなりました。



▲セミナー時の様子

活動報告

「クラウドファンディング・セミナー」を開催しました。

日 時：2020年2月13日(木)14:30～16:00

講 師：香川大学医学部看護学科 教授 清水裕子 氏

場 所：香川大学 地域連携・生涯学習センター 第1講義室 参加者数:8名

2月13日(木)に、香川大学地域連携・生涯学習センター第1講義室において、「クラウドファンディング・セミナー」を開催しました。

本セミナーは、徳島大学を代表機関とする2019年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」において実施すべき女性研究者の研究力向上を図るための取り組みに基づいて実施される事業であり、学術系クラウドファンディングに挑戦するための方法を示し、支援することを目的として実施するものです。今日必要とされている研究における戦略的アウトリーチに貢献するクラウドファンディングに必要なノウハウを学ぶことが目的として開催しました。

一般社団法人 大学支援機構が運営するクラウドファンディングotsucleによって「カンボジア王国カンダルスタン郡の衛生

教育改善のための学校保健体制の構築プロジェクト」への寄付受け入れを行う実績を持つ清水裕子教授にご講演いただき、クラウドファンディングを行うにあたっての戦略方法や研究費獲得の拡大方法、入金の流れ等についてお話をいただきました。

参加者からは「クラウドファンディング立ち上げの実際がよくわかりました。」「クラウドを介しての社会貢献の意義・香川大学としての方向性が理解できた。」といった声もいくつかあり、大変有意義なセミナーとなりました。セミナー終了後茶話会を行い、大学と一緒にクラウドファンディングを行うには等のノウハウや皆さまからのご質問にわかりやすくお話しいただき、「質問しやすく大変わかりやすいセミナーでした。」「内容がよく理解できました」とのお声をいただきました。



▲セミナー時の様子

▲茶話会時の様子



「介護セミナー」を開催しました。

日 時：2020年2月19日(水)13:00～14:00

14:00～14:30は学生の講義(介護実践演習)

場 所：香川大学幸町キャンパス 北4号館1階 415講義室

参加者数：149名(学生138名・教職員11名)

2月19日(水)香川大学幸町キャンパスにおいて、「介護セミナー」を開催しました。

高松市より、地域包括支援センター地域支援係 山崎憲明氏、老人介護支援センターほのぼの 山本秀彦氏をお招きし、ご講演をいただきました。

まず始めに、DVDを用いて認知症の方への望ましい対応・悪い対応についてご紹介いただき、認知症の主な症状についてやそれに至るまでの予防策、認知症の方への基本対応・基本姿勢についてお話しいただきました。また、セミナー参加者(学生)による「お昼ご飯を食べた」「食べてない」をめぐるロールプレイ等、非常に分かりやすくご講演をいただきました。

アンケートでは、ほとんどの参加者が「非常に参考になった」「参考になった」と回答しており、現在すでに認知症の方が身近にいる人も、まだ一度も関わったことがない人も、今回のセミナーで得た知識を、将来の自分、また近所や知り合いの人、何より家族のために生かしていきたいと感じたようです。

日々の忙しい生活の中ではなかなか難しいことかもしれないが、「認知症の人への対応の心得」「3つの「ない」」、急がせない、驚かせない、自尊心を傷つけないを基本姿勢として意識し、

「さりげなく自然に」サポートすることが一番の支援であることを学びました。介護する側・される側の気持ちの負担を考え、少しでも軽減できるようなサポートについて考えさせられるセミナーとなりました。

以下、セミナーについての参加者からの感想(一部抜粋)

- やさしく対応することを心がけようと思いました。
- 認知症を支える方もきちんと理解して付き合わないといけないと感じた。
- 今日の認知症サポーター養成講座のおかげで接し方のポイントや話す時に気をつけることを学ぶことができた。
- 周りに頼っても良いということを心に留めておきたい。また、認知症に関する知識がまだまだ足りないと感じたので、近親者または我が身が患ったときに備えて、制度に関する知識を中心に深めていきたい。
- 今回の正しい対応を見て、周りの人のかかわり方1つで、認知症の方が安全で住みやすい環境になるのではないかと感じた。
- 私の祖父が認知症であることから、家族としてどのように支えることができるかを考えることができた。



▲セミナー時の様子



▲ロールプレイ時の様子



☆3/6☆

「香大っこサポーターブラッシュアップ講座」を開催

香大っこサポーターが、子ども達を預かる時にできる工作を教えて頂く「ブラッシュアップ講座」を開催しました。今回は、さぬきずくムシアターの百々祐子さんから、「ポリ袋で作る凧」と「折り紙で作るミニ凧」などの、作って遊べる工作や、石鹸、布製品などにデコパージュの技法を使って模様をつけるなど、子どもが喜んで作りたくなるものばかり教えて頂きました。

★「香大っこサポーター」とは、香川大学の教職員の子どもたち「香大っこ」をみんなで育ていくために、お手伝いをしてくださる香川大学の学生のことです。

☆香大っくろームで香大っこサポーターによる託児を利用する場合は、1時間につき500円の託児料金が必要となります。

